

工学研究科 電気工学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
専 門 分 野			
【選択12単位】			
エネルギーシステム			
電力システム工学特論	2		
パワーエレクトロニクス特論	2		
スマートグリッド数理最適化特論	2		
核融合・エネルギー特論	2		
通信・情報ネットワーク			
デジタル通信特論	2		
暗号理論特論	2		
モバイルネットワーク特論	2		
スマートシステム			
制御工学特論	2		
電動車両工学特論	2		
システム設計特論	2		
音響ハードウェア特論	2		
システム設計と制御特論	2		
スマートエレクトロニクス			
物性評価技術特論	2		
光エレクトロニクス特論	2		
知能集積回路特論	2		
スピントロニクス特論	2		
データエンジニアリング			
デジタル信号処理特論	2		
画像システム特論	2		
バイオメトリクス特論	2		
ニューロコンピューティング特論	2		
画像処理特論	2		
共通			
電気工学特別講義1	2		
電気工学特別講義2	2		
電気工学特別講義3	2		
電気工学特別講義4	2		
電気工学実習1	2		
電気工学実習2	2		
実践イノベーション	2		
【共通（必修16単位）】			
文献研究及研究実験1	8		
文献研究及研究実験2		8	

【一般教養科目・修了所要単位数:2単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
選 択 必 修 科 目 (2単位)			
教 養 (共 通)			
自然を学ぶ科目群			
生物科学特論	2		
現代物理学特論	2		
物理学から見る理学の世界1	1		
物理学から見る理学の世界2	1		
物理学から見る理学の最前線1	1		
物理学から見る理学の最前線2	1		
物理学から見る理学の未来1	1		
物理学から見る理学の未来2	1		
人間と社会を学ぶ科目群			
人文学系			
倫理学対話	2		
現代東アジア特論	2		
応用言語学特論	2		
英語圏文学・文化演習	2		
表現文化特論	2		
総合芸術学演習	2		
社会科学系			
国際政治特論	2		
社会病理特論	2		
ダイバーシティ社会論演習	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知財戦略特論	2		
知的財産特論	2		
キャリアデザイン系			
イノベーション・チーム・ラボ	2		
キャリアデザイン考究	2		
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Basic Discussion and Presentation 1	2		
Basic Discussion and Presentation 2	2		
Discussion and Presentation 1	2		
Discussion and Presentation 2	2		
技術英語表現法概論	2		
技術英語表現法演習	2		
学術英語演習	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学技術研究の倫理	2		
科学技術社会特論	2		
医療倫理	2		
情報学・環境学系			
計算機設計特論	2		
プロセスアーキテクチャ特論	2		
ゼミ・特別講義系			
ウォーターサイエンス特論	2		
Materials Science and Technology OverviewA: Metals	2		
Materials Science and Technology OverviewB: Inorganic Materials	2		
Materials Science and Technology OverviewC: Polymer Materials	2		
Materials Science and Technology OverviewD: Composite Materials	2		

【履修方法】

- ①専門分野の必修科目16単位、指導教員が指定する専門分野の選択科目6単位、及び一般教養科目2単位を含め30単位以上を修得すること。指導教員が指定する専門分野については、入学時に指導教員に必ず確認すること。
- ②「文献研究及研究実験1、2」は、科目名の1、2の順番どおりに履修し修得しなければならない。ただし、本学の博士後期課程に進学を希望する学生で、東京理科大学大学院学則第10条但し書きに規定する在学期間の短縮に該当する、特に優れた研究業績を上げることが見込まれると研究科長が認めた場合は、この限りではない。
- ③一般教養科目は教養（共通）から2単位以上修得すること。
- ④修了所要単位に含めることができる一般教養科目の単位数の上限は2単位とする。
- ⑤1年次の履修単位数の上限は、23単位とする。
- ⑥所属する専攻の設置する授業科目以外に、研究科の定めるところにより、次に掲げる授業科目を履修することができる。
 - (1) 所属専攻以外の専攻課程による授業科目
 - (2) 他の研究科の授業科目
 - (3) 他大学の大学院の授業科目
 - (4) 学部の授業科目
- ⑦ ⑥(1)から(3)の授業科目において履修した単位は、修士課程の単位として6単位まで認定できる。
- ⑧授業科目は年度により開講しない場合がある。